



第1回 [8月31日(木)]

脱炭素で変わる競争と協業のルール

コミュニティエナジー株式会社

代表取締役 南原 順氏

企業にとって「脱炭素経営」は温暖化対策ではなく、「産業と社会の構造転換」において、生き残りをかけた競争と協業の営みである。脱炭素経営について世界と日本の潮流や、その意義や企業が直面する障壁について概説します。

【講師プロフィール】

大学院を卒業後、長野県飯田市にて、太陽光発電、木質バイオマス熱供給、省エネ(ESCO)など官民パートナーシップ事業の新規事業立ち上げ及び運営に携わる。その後、日本国内およびドイツを中心とした欧州地域の両方で太陽光発電プロジェクト開発に従事。
2016年9月にコミュニティエナジー株式会社を設立し、浜田市を拠点に再生可能エネルギー導入に関するコンサルティングや環境政策立案、地域づくりに関わる活動を通じて、地域の人と共に育つ未来志向の事業づくり・まちづくりに取り組む。

第2回 [9月26日(火)]

環境ビジネスで生き残るための脱炭素経営

アースサポート株式会社

代表取締役社長 尾崎 俊也氏

廃棄物処理・資源循環分野の脱炭素化に向けた法整備は今後進んでいくと考えられます。また、お客様がScope 1、2、3の削減を目指す上で、廃棄物分野の脱炭素化は欠かせない時代が目の前まで来ています。弊社にとって脱炭素経営は生き残りを賭けた戦いであり、将来のビジネスチャンスを掴むための重要な経営戦略です。

【講師プロフィール】

大学卒業後、金融機関を経て、MBAを取得し、アース環境株式会社(現アースサポート株式会社)に入社。2002年に同社の代表取締役社長に就任以降、M&Aを積極的にを行い、全国的に事業展開をしている。
環境教育の一環とする地元小学校への出前講座の実施やカーボンオフセットといった様々な環境事業に取り組んでいる。
また、この度、松江市が「脱炭素先行地域」に選定され、その取組みの中で当社は太陽光パネルのリユース・リサイクル事業を担う。

第3回 [10月27日(金)]

一歩先行くSDGs経営と脱炭素への取り組み

ごうぎんエナジー株式会社

営業戦略部 副部長 井上 光悦氏

行動期間の折り返しを迎えたSDGsと脱炭素・環境経営の関係性からジブングトとして取り組む手法・事例などをお伝えします。

【講師プロフィール】

2001年に山陰合同銀行入行。支店勤務を経て、地域振興部に15年在籍。その間、官民連携事業、一次産業の支援、排出量取引を含む環境ビジネス支援などに従事。
また、地方創生推進プロジェクトチームにおいて事務局を担当し、起業・創業支援プログラムの運営やファンド組成に携わり、複数の新規創業・事業化を支援。
近年は、SDGs/ESGをライフワークに公私にわたって活動し、鳥取県知事より伝道師第一号に任命され、企業・団体や教育機関等で研修・セミナーを多数実施。2022年7月に、金融機関初となる発電事業会社設立に携わり、現在に至る。

環境経営人材育成セミナー [参加申込書]

参加ご希望の方は下記の項目にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

会社名	電話番号	セミナー参加方法 ※いずれかに○印をつけてください。		
セミナー参加者				
氏名 ----- メールアドレス	役職名	[第1回] 8月31日(木) 現地・オンライン	[第2回] 9月26日(火) 現地・オンライン	[第3回] 10月27日(金) 現地・オンライン
氏名 ----- メールアドレス	役職名	[第1回] 8月31日(木) 現地・オンライン	[第2回] 9月26日(火) 現地・オンライン	[第3回] 10月27日(金) 現地・オンライン
氏名 ----- メールアドレス	役職名	[第1回] 8月31日(木) 現地・オンライン	[第2回] 9月26日(火) 現地・オンライン	[第3回] 10月27日(金) 現地・オンライン
事前質問記入欄 ※質問事項などありましたら、ご記入ください。 ----- ----- ----- -----				

〈参加申込書送付先〉 島根県中小企業団体中央会 連携支援課 ●担当/ 恩田・水野

FAX:0852-26-5686 E-mail: onda@crosstalk.or.jp

〈お問い合わせ先〉

しまねエコライフ推進会議 事業者部会事務局
島根県中小企業団体中央会 連携支援課
〒690-0886 松江市母衣町55番地4 TEL:0852-21-4809